

国語	学習に関する児童の実態・課題	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善の方策
4 年	<p>▲漢字の学習に意欲的に取り組んでいるが、文章の中で既習漢字を使用することにやや課題がある。</p> <p>▲友達の話を書くこと、メモを取って理解する力が弱い。（話す聞くのテスト平均75点。東京都学習意欲調査「他の人の話を聞くときは、メモを取って理解するようにしている。」肯定的回答49%）</p> <p>▲説明文の読み取りに課題がある。説明文の文章構成の理解を苦手とする児童が多い。書いてある事柄や筆者の考えを読み解くことが苦手な児童がいる。（東京都学習意欲調査「文章を理解できるように、大切だと思った部分や疑問に思った部分に線を引きながら読んでいる」肯定的回答57%）</p> <p>▲東京都学習意欲調査「文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。」肯定的回答61%</p> <p>○東京都学習意欲調査で、「国語の授業の内容が分かる」の肯定的回答が90%以上。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業や作文で既習漢字を積極的に使う力。 友達や人の話をメモ等を取りながら聞き、理解する力。 説明文を正しく読み取る力、文章構成や段落相互の関係（話題提示と答えの関係、原因と結果の関係）に気を付けながら、説明文を読み取る力。 自分の考えを人に伝えることができる力。 自分の課題を把握し、課題に対して主体的に学習に取り組む力。 	<ul style="list-style-type: none"> テストやドリルで間違えた漢字を自分で選び、練習するよう指導する。 漢字の部首の意味も考えながら覚えられるよう指導する。 友達や人の話をメモを取りながら聞くように指導する。 文章の中で、大切だと思った部分や疑問に思った部分に線を引きながら読む指導を行う。 タブレットを活用し他者と互いの書いた文章を読み合う時間を作り、意見を交流させる。 タブレットを活用した「振り返りシート」を単元の最後に記入させることにより、自分の課題を捉え、その課題に対して取り組むことができたか、自身の学習を振り返られるようにする。
4 年 1 組	<p>○漢字の学習に意欲的に取り組んでいる。漢字ミニテストの平均95点。テストでは漢字が書けるが、文章中で適切な漢字を使うことに課題がある。</p> <p>▲友達の話を書くこと、メモを取って理解する力が弱い。（話聞くのテスト平均75点。東京都学習意欲調査「他の人の話を聞くときは、メモを取って理解するようにしている。」肯定的回答49%）</p> <p>▲説明文の読み取りに課題がある。説明文の文章構成の理解を苦手とする児童が多い。</p> <p>▲東京都学習意欲調査「文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。」肯定的回答61%</p> <p>○東京都学習意欲調査で、「国語の授業の内容が分かる」の肯定的回答が90%以上。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業や作文で既習漢字を積極的に使う力。 友達や人の話をメモ等を取りながら聞き、理解する力。 説明文を正しく読み取る力、文章構成や段落相互の関係（話題提示と答えの関係、原因と結果の関係）に気を付けながら、説明文を読み取る力。 自分の考えに人に伝えることができる力。 自分の課題を把握し、課題に対して主体的に学習に取り組む力。 	<ul style="list-style-type: none"> テストやドリルで間違えた漢字を自分で選び、練習するよう指導する。 「話すのは一人」を徹底し、友達や人の話をメモを取りながら聞く指導をする。 文章の中で、大切だと思った部分や疑問に思った部分に線を引きながら読む指導を行う。 タブレットを活用し他者と互いの書いた文章を読み合う時間を作り、意見を交流する授業を行う。 引き続き、児童が興味関心をもち、主体的な学習できる授業づくりを行う。
4 年 2 組	<p>【知識・技能】</p> <p>▲授業中の漢字の学習は意欲的に取り組んでいる。しかし、自分の考えを文章を書くときと平仮名で書く児童が多く、文章中で既習漢字を使用することにやや課題がある。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○話し合い活動など、課題を把握し自分の考えを述べたり、人の考えを聞いたりすることができる。</p> <p>▲全体で発表となると、挙手して意見を言うことをためらう児童が多い。</p> <p>▲書くこと：助詞の正しい使い方にやや課題がある。</p> <p>▲物語文の読み取りはできるが（平均点90点）、説明文の読み取りに課題がある。（平均点82点）説明文の文章構成の理解を苦手とする児童が多い。書いてある事柄や筆者の考えを読み解くことが苦手な児童がいる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○読書活動に親しんでいる児童が多くいる。</p> <p>○新出漢字の学習に意欲的に取り組む児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業や作文で既習漢字を正しく使う力。 助詞を正しく使って文章を書く力。 説明文を正しく読み取る力、文章構成や段落相互の関係（話題提示と答えの関係、原因と結果の関係）に気を付けながら、説明文を読み取る力。 自分の課題を把握し、課題に対して主体的に学習に取り組む力。 積極的に友達に意見を伝えたり、聞いたりして交流する力。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的に漢字テストや既習漢字の復習課題を与えることで、反復学習ができるようにする。 朝学習の時間でのタイピング学習により、ローマ字の知識を定着させる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物語文の読み取りでは、引き続き叙述を基にした読み取りを重視し、そこから情景を創造させる授業の展開を行う。 文章構成や段落相互の関係（話題提示と答えの関係、原因と結果の関係）に気を付けながら、説明文等の読み取りができるようにさせる。 他者と互いの書いた文章を読み合う時間を作り、意見を交流することにより互いの文章の良さに気付いたり、文を整えたりする時間を設け、作文能力を高める。 タブレットを活用して発言・発表を促す指導を行う。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「振り返りシート」を単元の最初と最後に記入することにより、自分の課題を捉え、その課題に対して取り組むことができたか、自身の学習を振り返られるようにする。 昭島市民図書館の図書貸出制度を活用し、読書活動を推進する。

算数	学習に関する児童の実態・課題	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善の方策
4年	<p>▲わり算の筆算（3位数÷2位数、3位数÷3位数）の仕方を理解していない児童が複数いる。</p> <p>▲「確実に分かるようになるまで繰り返し練習している」の肯定的解答67%で他学年に比べて低い。</p> <p>▲「教科書やノートを読み返すなどして、授業で学習したことを振り返るようにしている。」の肯定的回答が他学年に比べ低い。</p> <p>▲「どうやったらうまくいくかを考えてから学習を始めるようにしている」が60%で他学年に比べて低い。</p> <p>▲上位層と下位層の学力差が顕著である。</p> <p>○東京都学習意欲調査で、「算数の授業の内容が分かる」の肯定的回答90%以上だった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・わり算の筆算の仕方を正しく理解し、正確に筆算する力。 ・確実に分かるようになるまで、繰り返し練習する力。 ・教科書やノートを読み返し、学習したことを振り返る力。 ・課題に取り組む前に既習事項を使い、考えてから学習に取り組む力。 ・下位層児童の基礎学力の底上げを図る。 ・自分の課題を把握し、課題に対して主体的に学習に取り組む力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わり算の筆算を朝学習や宿題などで繰り返し学習させる。 ・テストやドリルでまちがえたときは、似た問題を選んで、特に練習させる。 ・毎時間の授業の導入で、前時の復習を行い知識の定着を図る。 ・課題に取り組む前に既習事項を想起させる授業展開を行う。 ・少人数指導で単元や学習内容に応じて習熟度別分割での指導、支援員を活用した複数体制の指導を行い、個人差を考慮した指導を行う。 ・主体的に取り組む授業づくり、分かる授業づくりを行う。
4年 1組	<p>▲わり算の筆算（3位数÷2位数、3位数÷3位数）の仕方を理解していない児童が複数いる。</p> <p>▲「確実に分かるようになるまで繰り返し練習している」の肯定的解答67%で他学年に比べて低い。</p> <p>▲「教科書やノートを読み返すなどして、授業で学習したことを振り返るようにしている。」の肯定的回答が他学年に比べ低い。</p> <p>▲「どうやったらうまくいくかを考えてから学習を始めるようにしている」が60%で他学年に比べて低い。</p> <p>▲上位層と下位層の学力差が顕著である。</p> <p>○東京都学習意欲調査で、「算数の授業の内容が分かる」の肯定的回答90%以上だった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・わり算の筆算の仕方を正しく理解し、正確に筆算する力。 ・確実に分かるようになるまで、繰り返し練習する力。 ・教科書やノートを読み返し、学習したことを振り返る力。 ・課題に取り組む前に既習事項を使い、考えてから学習に取り組む力。 ・下位層児童の基礎学力の底上げを図る。 ・自分の課題を把握し、課題に対して主体的に学習に取り組む力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わり算の筆算の問題を宿題で出し、朝学習の時間で答え合わせをするなど、繰り返し筆算の問題に取り組ませる。 ・テストやドリルでまちがえたときは、似た問題を選んで、特に練習させる。 ・毎時間の授業の導入で、前時の復習を行い知識の定着を図る。 ・課題に取り組む前に既習事項を想起させる授業展開を行う。 ・少人数指導で単元や学習内容に応じて習熟度別分割での指導、支援員を活用した複数体制の指導を行い、個人差を考慮した指導を行う。 ・主体的に取り組む授業づくり、分かる授業づくりを行う。
4年 2組	<p>【知識・技能】</p> <p>○基礎的な四則計算の理解している。</p> <p>▲正確に問題を解くことができず、満点を取る児童が少ない。</p> <p>▲一部児童にかけ算九九が未定着が見られる。</p> <p>▲微細運動が苦手な児童が多く、コンパスや三角定規など、教具を扱うこと、正しく丁寧に板書を書き写すことができない。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>▲課題の解答に至るまでの過程を、言葉・式・絵や図などを用いて表現する力がやや不十分である。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○新しい学習内容について、意欲的に取り組める児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四則演算の基礎、基本の確実な定着。 ・正確に計算するために見直しをする力。 ・問題文をよく読み、課題に対して丁寧に解答する力。 ・教具を正しく使い、素早く丁寧に板書を書き写す力。 ・課題解決に至る過程を、言葉・式・絵や図などを用いて表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の授業の導入で、前時の復習を行い知識の定着を図る。 ・めあてに即した振り返りを自分の言葉で書かせることで、1時間の学習内容を定着させる。 ・自分の考えを言葉や式、絵や図などを用いて表す指導を重視し、友達に考えを説明する学習活動を授業の中に意図的に取り入れる。 ・日常生活の中から課題を作成し、意欲・関心を高める指導を行う。 ・少人数指導で単元や学習内容に応じて習熟度別分割での指導、支援員を活用した複数体制の指導を行い、個人差を考慮した指導を行う。 ・様々な文章題に取り組みせ、必要な情報を取捨選択しながら課題を解決させる授業を展開する。